

分野	専門基礎分野 —健康支援と保障制度—	対象学年	3
		時期	後期
授業科目	生命倫理 Bioethics	単位	1
		時間	15
		方法	講義
担当教員	始業後、担当教員一覧および授業ガイダンスにて確認		
科目責任者	担当者複数の場合は、担当教員一覧にて確認		
授業概要	<p>生命は平等であり、尊厳されなければならない。生命倫理（バイオエシックス）は命に関する倫理であって看護の倫理の観点からしても、必要な考えです。医療（看護）の現場では、医学的側面（臓器移植など）でも、社会的側面（インフォームド・コンセント）でも急速に変わりつつあります。医療ミスの頻発もあり医療従事者には、ますます高度な専門性と職業上の責任が求められています。それは人々の医療（看護）に対する期待がそれだけ高いことを示しています。生命倫理をめぐる法的規制の動向を中心に紹介し、倫理の重要性を学ぶ場として欲しい。また看護職が様々な場面で問われる自律的判断の土台となり、倫理に基づいた行動ができるための（職業倫理）よりどころとなり、また自らの看護に対する考え方を深める内容としたい。</p>		
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医学の進歩と倫理観の変遷・調和について理解する。 2. 医療専門職の社会的責任について理解する。 3. 生命の尊厳について考え、看護者としての倫理観を考える。 		
評価方法	終講試験（80点）レポート（20点） グループワーク参加態度と出席状況にて減点		
使用テキスト	新体系看護学全書 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度 現代医療論 メジカルフレンド社		
参考図書			
メッセージ	<p>生命倫理は医学（看護）や生命科学に関する倫理的・社会的・哲学的・法的問題及びその関連問題を研究する学問であると国際生命倫理会が定義している。科学技術の目覚ましい発展は、人間の生命に対する大幅な人為的介入を可能にし、人類は望むことの許されなかった選択肢を手中に収めることができるようになりました。しかし同時に生命に対する人為的介入はどこまで許されるのかといったこれまで問われることのなかった新しい問題に直面することとなりました。生命倫理は様々な知識の統合をしていく学問です。また人間を深く学び、人間の生き方を問い続ける学問です。また、看護職の弱いところは法律の理解とも言われています。自己決定権を尊重し、説明責任を果たすことのできる看護師を目指して一緒に学んでいきましょう。</p>		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	生命倫理概論	生命倫理概論を学ぶ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療に関する誓約、規範 <ol style="list-style-type: none"> ①ピポクラテスの誓い ②ナイチンゲール誓詞 ③ジュネーブ宣言(1948) ④ヘルシンキ宣言(1964) ⑤患者の権利章典(1973) ⑥リスボン宣言(1981) ⑦日本看護協会 看護者の倫理綱領(2003) ⑧ICN 看護師の倫理綱領(2005) 2. 現代医療における倫理 <ol style="list-style-type: none"> ①倫理とは何か 道徳とは 倫理とは 職業倫理とは ②医療倫理 ③看護倫理 看護者の倫理綱領 	講義	看護学概論 I・IIで既習の内容だが、必修内容のため時代の経過とともに整理して確認する

2	生命倫理原則	生命倫理の4原則について理解する	<ol style="list-style-type: none"> 1.生命倫理4原則 <ol style="list-style-type: none"> ①自律尊重原則 ②無危害原則 ③善行原則 ④正義 2.倫理問題の整理 <ol style="list-style-type: none"> 4 分割法による分析方法 <ol style="list-style-type: none"> ①医学的適応 ②患者の意向 ③QOL ④周回の状況 <p>事例を用いて説明</p>	講義 GW	
3	生殖医療と倫理	生殖医療と倫理について考えを深める	<ol style="list-style-type: none"> 1.先端医療と倫理問題 <ol style="list-style-type: none"> ①遺伝子解析・遺伝子医療と倫理 ②出生前診断と倫理 	講義 DVD	
4	医の倫理	医の倫理について考えを深める	<ol style="list-style-type: none"> 1.現代医療の本質 <ol style="list-style-type: none"> ①現代医療の状況と問題 2.医療における医師—患者の関係 <ol style="list-style-type: none"> ①医師の職業威信と国民の信頼感 ②医療における医師の義務 ③インフォームドコンセント 3.医の倫理 	講義 レポート	医師である学校長が講義を行う
5	看護の倫理・臨床場面における倫理的問題と分析	<ol style="list-style-type: none"> 1.看護の倫理について考えを深める 2.臨床場面における倫理的問題について考えを深める 	<ol style="list-style-type: none"> 1.倫理的感受性 2.臨床場面における倫理的問題 3.日常おこる様々な問題と整理 	講義 GW	身近な現象を例に説明する事例を提示してGW
6	看護者の役割	倫理的問題と看護者の役割	<ol style="list-style-type: none"> 1.対象の理解 意思・意向のアセスメント 2.問題の理解、状況分析 3.関わりの方向性 4.看護者の役割 	講義 DVD GW レポート	DVDを活用して、実際にあるような複雑な事例から考える
7					
8			終講試験		